

上田城跡公園野球場が野球聖地・名所150選に

上原 昇（2組）

今年、野球が日本に伝わってから150年とこのことで、それを記念して、日本野球機構（NPB）などが主宰する「**日本野球聖地・名所150選**」の一つに上田城跡公園野球場が選ばれた(<http://japanesebaseball150th.jp/sights/>)。

同球場は1928（昭和3）年の完成から94年が経過、プロ野球の試合もこれまで14試合行われたことなども歴史的評価に繋がった。後の昭和天皇となる当時の皇太子の成婚記念事業として、上田市が城跡内の「百間堀（ひゃっけんぼり）」と呼ばれた広大な規模の外堀跡に建てたものである。

堀の斜面を利用した観客席は独特で、高校時代にしばしば野球の応援に通った懐かしい場所だ。当時の名称は市営球場だったが、2006年に現在の名前に変更された。

ここで行われたプロ野球の試合で語り継がれるのは、1951年8月1日の松竹ロビンス対大阪タイガース戦で、ロビンスの岩本義行選手（1912～2008、広島県出身）が打った史上初の1試合4ホームランである。

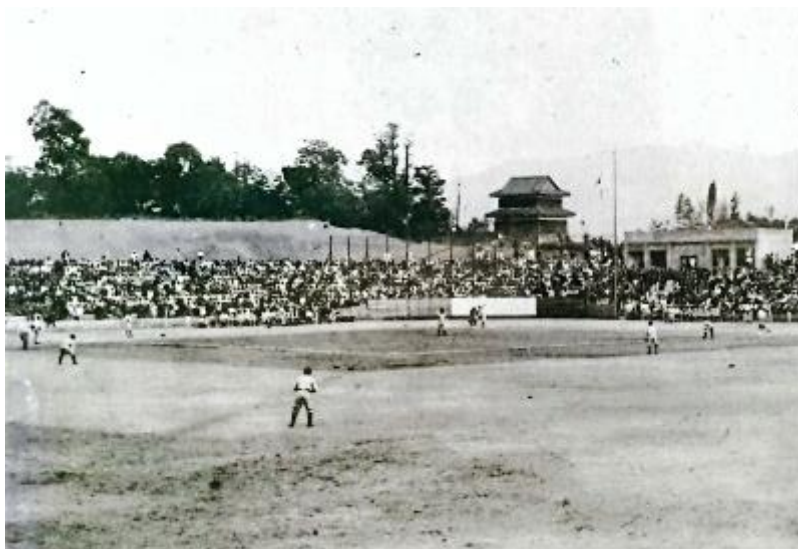
さすがにこの試合をみている同期諸氏はいないと思う。

映画『ラストゲーム 最後の早慶戦』（神山征二郎監督、2008年公開）の撮影もこの球場を舞台に撮影された。

150選では、長野県ではほかに長野市の長野オリンピックスタジアムも選ばれた。

この際、上田城跡公園野球場（旧市営球場）に関する思い出を、同期の皆さんから投稿を募りHP上で紹介したい。

【写真1：1932年当時の上田市営球場風景】





【写真 2 : 現在の^上田城跡公園野球場風景】

(2022 年 8 月 26 日記)